

【令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業】

項	事業名	事業内容
1	避難所環境整備事業	災害時の大規模避難所を感染症対策が可能な状態で使用ができるよう、空調設備の整備を行います。
2	農林事業者支援給付金事業	高知県が実施する「高知県営業時間短縮要請対応臨時給付金」の対象者のうち町内の農林水産事業者に対して上乗せの給付金を支給することにより町内農林水産事業者の事業継続を支援します。
3	漁協経営基盤強化支援事業	魚価の低迷による販売事業収益の減少及び感染症拡大による体験事業収益が減少している漁協を支援するため、経営基盤の強化及び感染症対策に必要な車両等の購入費を補助します。
4	ライダーズイン 中土佐設備改良事業	新型コロナウイルス感染症対策として、ライダーズイン中土佐の管理棟の換気対策を強化するため、高所に設置されている可動式窓の開閉および換気扇のメンテナンスを容易にできるよう作業用ステップを設置します。
5	高齢者福祉施設感染症対策費負担金	中土佐町が加盟している老人ホーム組合（一組）の整備する感染症対策資機材等の整備費用を負担します。
6	町立小中学校新型コロナウイルス対策事業	町立小中学校で新型コロナウイルスへの感染を予防し、密を作らない学習環境等の整備を行います。
7	社会体育施設空調設備等整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛や県内の運動施設・ジムの休館に伴い、運動機会が減少しています。3密に配慮したうえで、町内唯一のトレーニング施設に換気付きの空調設備や運動器具を整備することで、住民の体力・健康維持を図ります。併せて効果的な運動方法や安全な器具使用に関する運動教室を開催し、運動の継続を図ります。
8	学校給食センター学習映像制作事業	新型コロナウイルス感染症拡大により食育学習の現地見学が行えないため、代替えの学習映像DVDを製作し各学校に配布することにより食育学習の充実を図ります。
9	体験型就労支援事業	コロナの影響で経済的に困窮する大学生を町内の第一次産業の事業者で受け入れることで、経済的支援を図ると同時に、今後の担い手へつなげます。
10	公共交通事業者感染症対策支援事業	町内を運行する公共交通事業者が実施する感染症予防対策等に要する経費を助成します。
11	営業時間短縮要請対応臨時給付金	高知県が実施する「高知県営業時間短縮要請対応臨時給付金」の対象者のうち町内事業者に対して上乗せの給付金を支給することにより町内事業者の事業継続を支援します。
12	中土佐町あんしん会食推進事業	町内の観光関連事業者が実施する感染防止・集客事業に要する経費を助成します。
13	介護施設新型コロナウイルス対策事業	住民にとって安心・安全な介護施設の運営を実現するために、町内の介護施設が新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底するための備品整備等を支援します。
14	集団検診・ワクチン接種に係る新型コロナウイルス対策事業	集団検診・ワクチン接種における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため大人数を一度に検温可能なサーマルカメラシステムを整備します。
15	避難所備蓄用毛布購入事業	災害時の避難者の密状態を防ぐため、多くの避難所を開設する必要があります。避難所において、避難者に十分に行き渡る数量の毛布を整備します。
16	避難所用通信機器整備事業	災害時の避難者の密状態を防ぐため、多くの避難所を開設する必要があります。多数の避難所を開設する場合に備えた非常通信設備を整備します。
17	テレワーク環境構築事業	役場業務のテレワーク環境を構築することにより、コロナ感染の拡大時にも業務を継続できる仕組みを構築します。

項	事業名	事業内容
18	地域イベント等開催支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により中止または縮小された取組等に代わるイベントの実施を推進するため、地域団体等が開催する代替イベント等に要する経費に対し補助します。
19	近海かつお一本釣り漁業持続化支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により漁業経営に影響を受けている町内の近海かつお一本釣り事業者に対して、事業の維持又は継続のための支援として給付金を給付します。
20	保育対策事業費補助金	感染防止対策のため、保育所が日常生活において必要とする物品等の購入を支援します。 (国庫補助事業 新型コロナウイルス感染症対策支援事業)
21	保育所新型コロナウイルス感染症対策事業(継足単独事業)	感染防止対策のため、保育所が日常生活において必要とする物品等の購入を支援します。
22	教育施設情報通信設備等整備事業	町内の小中学校5校へIP電話を設置することで、密を避け、各校において電話会議等が行える環境を整備します。また、町内の社会教育・社会体育施設へのインターネット環境の整備や機材を導入し、運動教室等をZOOM等で実施することで、コロナ禍においても町内のスポーツや文化活動の活性化を図ります。あわせて、町内各地区で同時開催できる環境を整えます。
23	非常用電源車両整備事業	災害時の避難者の密状態を防ぐため、多くの避難所を開設する必要があります。非常用電源車両を整備することによって、非常用電源の無い避難所においても電源が確保できるようにし、災害時に避難者を分散避難させ避難所の密を回避します。